

## 質疑応答

### 医療系学部初年次多職種連携実習における地域公共図書館との連携

柿崎真沙子（名古屋市立大学），田中里枝子，福田光輝，和田彩子（名古屋市鶴舞中央図書館）

Q1. 公共図書館との連携のきっかけは？

A1. MIS35 で公共図書館が地域包括ケアに加わっている事例を知り、機会をうかがっていた。

Q2. 市立図書館と連携された素晴らしい事例発表だと伺いました。ひとつ質問ですが、所属内の大学図書館の関わりなどがありましたら教えていただきたいです。

A2. 今のところない。

Q3. 貴重なご発表ありがとうございました。学生のおすすめ本は、新規購入もありましたでしょうか。また、図書館の方の医療関係の研修についても教えてください。

A3. 今回は新規購入はなかった。  
研修については不明。

Q4. 公共図書館の健康・医療情報について、充実すべき点があればうかがいたい。

A4. 館によるが、鶴舞中央図書館は所蔵が多いので、展示方法など利用者が手に取るときにどうするかを念頭に置くのが良いのではないかと。

●（コメントですので、読み上げてください）公共図書館での健康医療情報の提供は高齢化社会の今において重要な取り組みと思います。医療系学生が卒後もそうした取り組み連携を知るのはとても有意義です、これからも頑張っていたいただければと思います。ありがとうございました。

A5. ありがとうございます。